

令和7年12月31日

統計トピックスNo. 147

うま  
**「午年生まれ」と「新成人」の人口**

— 令和8年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

うま  
**午年生まれは940万人**

**新成人は109万人**

(平成19年生まれ・18歳)

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、令和8年1月1日現在における  
うま  
「午年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要約

I うま  
**午年生まれの人口は940万人**

- 男性は456万人、女性は484万人
- 昭和53年生まれが最も多い

II 新成人人口は109万人

- 新成人人口（平成19年生まれ・18歳）は109万人で前年と同数  
男性は56万人、女性は53万人
- 総人口に占める割合は前年に比べ上昇

# I <sup>うま</sup> 午年生まれの人口は940万人

## 男性は456万人、女性は484万人

令和8年1月1日現在における<sup>うま</sup>午年生まれの人口は940万人で、総人口1億2296万人（男性5982万人、女性6314万人）に占める割合は7.6%となっています。

男女別にみると、男性は456万人、女性は484万人で、女性が男性より28万人多くなっています。

(表1、図1、表2)

## 昭和53年生まれが最も多い

<sup>うま</sup>午年生まれの人口を出生年別にみると、昭和53年生まれ（令和8年に48歳になる人）が168万人と最も多く、次いで昭和29年生まれ（同72歳になる人）が147万人、昭和41年生まれ（同60歳になる人）が130万人、平成2年生まれ（同36歳になる人）が128万人などとなっています。最も若い平成26年生まれ（同12歳になる人）は100万人で、最も多い昭和53年生まれより68万人少なくなっています。

(図2、表2)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)
総 数	12296	100.0
子(ね)	1074	8.7
丑(うし)	1087	8.8
寅(とら)	1058	8.6
卯(う)	1042	8.5
辰(たつ)	1056	8.6
巳(み)	1061	8.6
午(うま)	940	7.6
未(ひつじ)	997	8.1
申(さる)	986	8.0
酉(とり)	950	7.7
戌(いぬ)	988	8.0
亥(い)	1057	8.6

図1 十二支別人口

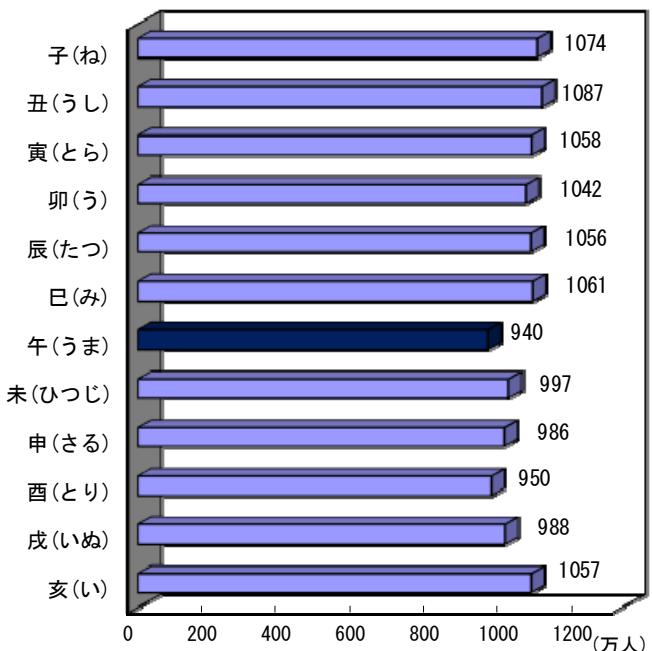


図2 男女、出生年別<sup>うま</sup>午年生まれの人口

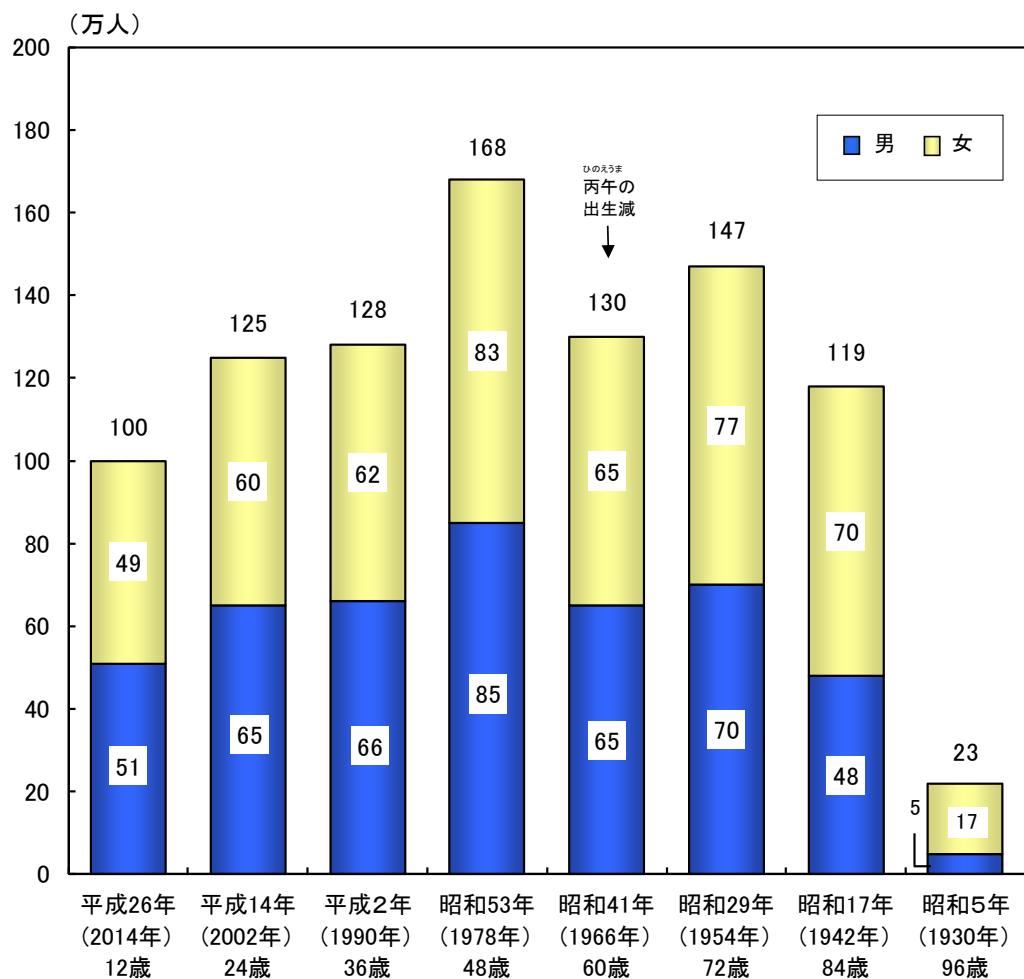


表2 男女、出生年別<sup>うま</sup>午年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (万人)	総数に占 める割合 (%)	男 (万人)	総数に占 める割合 (%)	女 (万人)	総数に占 める割合 (%)
総 数	—	940	100.0	456	100.0	484	100.0
平成26年	(2014年)	12歳	10.7	51	11.3	49	10.1
平成14年	(2002年)	24歳	13.3	65	14.1	60	12.5
平成 2 年	(1990年)	36歳	13.6	66	14.4	62	12.9
昭和53年	(1978年)	48歳	17.9	85	18.7	83	17.2
昭和41年	(1966年)	60歳	13.8	65	14.3	65	13.4
昭和29年	(1954年)	72歳	15.7	70	15.4	77	15.9
昭和17年	(1942年)	84歳	12.6	48	10.6	70	14.5
昭和 5 年	(1930年)	96歳	2.4	5	1.2	17	3.6

- \* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- \* 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- \* 図及び表中の年齢は、令和8年に誕生日を迎えた時の年齢
- \* 十二支別人口は、12月末までのデータにより推計した1月1日現在人口のため、  
令和8年生まれの<sup>うま</sup>午年の人は含まれない。

## II 新成人人口は109万人

新成人人口(平成19年生まれ・18歳)は109万人で前年と同数  
男性は56万人、女性は53万人

この1年間(令和7年1月～12月)に、新たに成人に達した人口(令和8年1月1日現在18歳の人口)は109万人で、前年と同数となっています。

男女別にみると、男性は56万人、女性は53万人で、男性が女性より3万人多く、女性100人に対する男性の数(人口性比)は105.6となっています。(表3、図3)

総人口に占める割合は前年に比べ上昇

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベーブーム(昭和22年～24年)世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人(総人口に占める割合は2.40%)で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベーブーム(昭和46年～49年)世代の人が成人に達した時に200万人台(最多は平成6年207万人)となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向となっています。

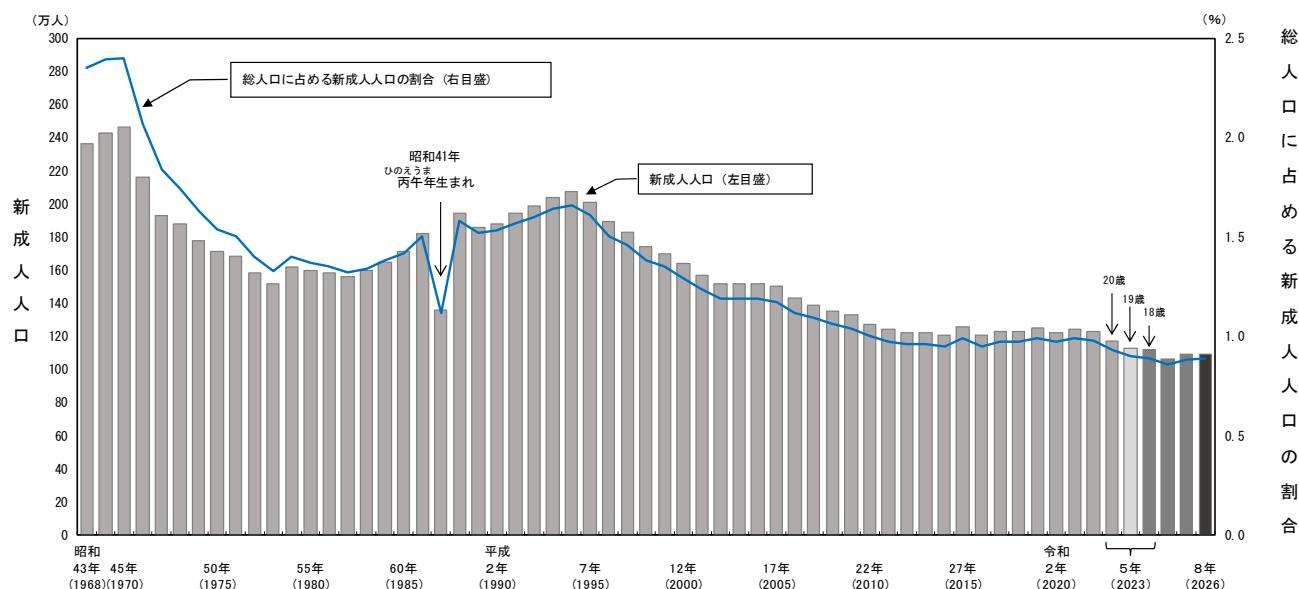
表3 新成人人口の推移

年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比	年次(西暦)	新成人人口 (万人)			総人口に 占める 割合(%)	人口性比	
	男女計	男	女				男女計	男	女			
昭和43年 (1968)	236	119	117	2.35	101.6	平成11年 (1999)	170	87	83	1.35	105.2	
44 (1969)	243	123	121	2.39	101.9	12 (2000)	164	84	80	1.29	105.4	
45 (1970)	246	124	123	2.40	101.0	13 (2001)	157	81	77	1.24	105.3	
46 (1971)	216	110	106	2.07	103.9	14 (2002)	152	78	74	1.19	104.7	
47 (1972)	193	98	96	1.84	102.0	15 (2003)	152	77	74	1.19	104.7	
48 (1973)	188	94	94	1.74	100.8	16 (2004)	152	78	74	1.19	104.7	
49 (1974)	178	89	89	1.63	100.6	17 (2005)	150	77	73	1.17	104.9	
50 (1975)	171	87	84	1.54	103.6	18 (2006)	143	73	70	1.12	105.0	
51 (1976)	168	86	83	1.50	103.7	19 (2007)	139	72	67	1.09	106.4	
52 (1977)	158	81	77	1.40	104.5	20 (2008)	135	69	66	1.06	105.2	
53 (1978)	152	77	75	1.33	102.8	21 (2009)	133	68	65	1.04	104.9	
54 (1979)	162	82	80	1.40	103.3	22 (2010)	127	65	62	1.00	104.7	
55 (1980)	160	81	78	1.37	103.9	23 (2011)	124	63	61	0.97	104.2	
56 (1981)	158	81	78	1.35	104.3	24 (2012)	122	62	60	0.96	104.9	
57 (1982)	156	80	76	1.32	104.5	25 (2013)	122	63	59	0.96	105.4	
58 (1983)	160	81	78	1.34	104.2	26 (2014)	121	62	59	0.95	105.1	
59 (1984)	165	84	81	1.38	104.3	27 (2015)	126	65	61	0.99	105.5	
60 (1985)	171	87	83	1.42	104.8	28 (2016)	121	62	59	0.95	105.1	
61 (1986)	182	93	89	1.50	104.2	29 (2017)	123	63	60	0.97	105.8	
62 (1987)	136	70	66	1.12	105.7	30 (2018)	123	63	60	0.97	105.5	
63 (1988)	194	99	95	1.58	103.9	31 (2019)	125	64	61	0.99	105.5	
64 (1989)	186	96	91	1.52	105.3	令和元年	2 (2020)	122	63	59	0.97	105.8
平成元年							3 (2021)	124	64	60	0.99	105.6
2 (1990)	188	97	92	1.53	105.5		4 (2022)	123	63	60	0.98	104.4
3 (1991)	194	99	94	1.57	105.4		5 (2023)	341	175	166	2.73	105.6
4 (1992)	199	101	97	1.60	104.2			117	60	57	0.93	105.6
5 (1993)	204	104	99	1.64	105.0	うち 20歳		113	58	55	0.90	105.8
6 (1994)	207	106	101	1.66	105.0	うち 19歳		112	57	54	0.89	105.6
7 (1995)	201	103	98	1.61	105.6	うち 18歳	6 (2024)	106	55	52	0.86	105.5
8 (1996)	189	97	92	1.50	105.3	7 (2025)	109	56	53	0.88	105.2	
9 (1997)	183	94	89	1.46	104.7	8 (2026)	109	56	53	0.89	105.6	
10 (1998)	174	89	85	1.38	105.0							

令和8年の新成人人口は109万人で前年と同数となり、最も少なかった令和6年に次いで2番目に少なくなっています。一方、総人口に占める割合は0.89%で、前年と比べ、0.01ポイント上昇となりました。割合の上昇は、総人口の減少の影響によるものと考えられます。

(表3、図3)

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移



- \* 「人口推計」(各年1月1日現在)
- \* 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- \* 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- \* 昭和47年までは沖縄県を含まない。
- \* 新成人人口は、令和4年までは20歳、令和5年は18歳、19歳及び20歳（民法の一部を改正する法律（平成30年法律第59号）の施行に伴う経過措置）、令和6年以降は18歳を対象としている。

## ..... 利用と問合せについて .....

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>

人口推計	検索 
------	--

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/topi1470.html>

- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。

(例) 「人口推計」(総務省統計局)

